

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(長野板販株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (異などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
1		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本(必須)			・新入社員への、差別を防ぐ教育の実施。 ・外部に相談窓口を用意し周知している					5.1			8.5			10.2						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本(必須)			・新入社員への、ハラスメント教育の実施。 ・外部に相談窓口を用意し周知している				5.1	5.2	5.5			8.5	8.8							16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本(必須)			・勤怠システムによる就業時間管理 ・週3回のノー残業デー									8.5	8.8								
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本(必須)			・人員募集に際して人種、国籍によらず募集をしている。				4.4				8.7	8.8	10.2	10.3							
5	人権・労働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			・作業手順の共有、KY活動の徹底 ・定例会議でのPDCA			3					8										
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本(必須)			ストレスチェック実施 外部相談窓口の周知		3																
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			・事務所内をナリアフリーにしている ・定年後の再雇用を積極的に実施している。			5.1	5.5			8.5	10.2	10.3									
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本(必須)			・各取引先メーカー研修への参加補助 ・新入社員への教育研修		4	5.5			8	9											
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本(必須)			外部の社労士の指導の下同一労働同一賃金の原則に沿って対応している。			5.5			8.5	10.2	10.3										
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			2022より健康経営優良法人を取得して以来毎年更新している。		3					8											
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本(必須)			廃棄物の種類、量を把握し、適切な分別をし処理をしている。 また、リサイクルできるようアルミ等分別を行い実施している。											11.6	12	14.1					
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本(必須)			営業車および配送車のガソリン使用料を毎月調査し、ガス排出量を算出している。 光熱費から冷暖房にかかる排出量を算出している。						7.3						13						
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本(必須)			・高効率ノズル、アヒート等を設置し、市販房を抑制している。 ・ハイブリッドカーを導入しガソリン車の割合を減らす取り組みを行っている。					7.2	7.3				12.4	13.3							
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本(必須)			施工で使用する化学物質はSDSに基づき内容の把握と適切な使用をしている			3.9		6.3				11.6	12.4								

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																			
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本(必須)			施工時に発生するゴミ等について適切に分別を行い、適切に処理することで生態系への悪影響を及ぼさないようにしている									6.6							15				
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本(必須)			紙資料のリサイクル利用を推進、施工現場で出る廃棄物の分別を徹底。 アルミ材のリサイクル利用														13	14.1					
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ(任意)		【予定】	・自社の水源を含む水利用状況を把握し、使用量削減等の計画を策定する						6.4	6.6													
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ(任意)		【予定】	・ISO14001、エコアクション21の取得を進める			3.9		6	7								12	13.3	14	15			
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ(任意)			SNS上での当社の取り組みの発信および、断熱エコ商材の紹介を実施														12.6						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			株式会社LIXILTEPCOスマートパートナーズの「建て得」の推進、ZEHの普及。							7.2							13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			主要取引先のLIXILは、「CO2ゼロと循環型の暮らし」を掲げる環境ビジョンの実現に向け、「資源の循環利用の促進を行っている。													12.2	13	14	15				
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			就業規則に規定し、社内に周知している。																16	16.5			
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			就業規則に規定し、社内に周知している。																16				
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本(必須)			就業規則に規定し、社内に周知している。							8.2	8.3	9											
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本(必須)			限られたメンバー以外は閲覧できない(アクセスできない)PCで適切に管理している。																16				
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ(任意)			している																	16			
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			仕入れ先、得意先含めすべてのサプライチェーンと倫理面での適切な対応について認識を共有している。					5		8	10	12	13	14	15	16	17						
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト : https://www.biz-partnership.jp/	基本(必須)		【予定】	2026年中に登録、公表予定			3					8	9	10							17			

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
地域の住環境リテラシー向上		長野市、LIXIL、弊社、その他メーカーの協働で地域住民向けにセミナーを実施している。			3	4						11	13					17	
配送効率化によるCO ₂ 排出量の削減		全車両に位置情報が確認できるドライブレコーダーを設置して配送の効率化を行っている。								8		11	12	13					
従業員の健康増進支援		従業員の健康増進と運動習慣の定着を目的に、スポーツ活動・体のケアに係る費用を補助する「健康補助金制度」を運用している。			3					8	10							17	

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO₂吸収評価認証制度、長野県県産材CO₂固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていていることを確認するための規定